

付録 B		コミュニティ分析とニーズ評価	
<p>「文化的多様性」あるいは「多文化主義」は、異なる文化の共生と交流にかかわるものである。「文化とは、特定の社会または社会集団に特有の、精神的、物質的、知的、感情的特徴をあわせたものであり、また、文化とは、芸術・文学だけではなく、生活様式、共生の方法、価値観、伝統及び信仰も含むものである。」</p> <p>- IFLA/UNESCO 多文化図書館宣言</p>		<p>自館がサービスしているあるいはサービスする可能性のある個々の文化について：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>現行の</u>サービス，あるいはアクセス可能な情報資源は何ですか？</li> <li>● <u>将来見込まれる</u>サービス，あるいはアクセスを可能にする情報資源は何ですか？</li> </ul>	
質問	文化	サービス	情報資源
現在，自館がサービスを提供している異文化は何ですか？			
今後自館がサービスを提供する可能性のあるコミュニティ内の異文化は何ですか？			
どのような言語のサービスあるいは情報資源があれば，これらの文化にとって図書館が利用しやすくなりますか？			

付録 B		コミュニティ分析とニーズ評価	
<p>この選択式チェックリストは、文化的コミュニティと彼らのサービスニーズに関するより詳細な情報を集めるために用いることができます。チェックリストは『<b>多文化コミュニティ：図書館サービスのためのガイドライン</b>』から採用しました。</p> <p><a href="https://www.ifla.org/publications/multicultural-communities-guidelines-for-library-services-3rd-edition">https://www.ifla.org/publications/multicultural-communities-guidelines-for-library-services-3rd-edition</a></p>			
<p><b>定義</b></p> <p>コミュニティ分析 – 利用者コミュニティ（図書館利用の有無にかかわらず）の特徴と生活環境を確認し、図書館・情報サービスへのニーズを評価する過程</p> <p>ニーズ評価 – コミュニティで求められ利用される情報、およびその入手可能性（図書館利用の有無にかかわらず）を調査する過程</p>			
<p><b>目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティ（図書館利用の有無にかかわらず）が、図書館とそのサービスをどのように考えているのか知ること。</li> <li>・ 現在の図書館サービスとコミュニティのニーズとの間に存在するかもしれないギャップと、別のサービスによって満たされている領域を確認すること。</li> <li>・ 短期的・長期的に、コミュニティのニーズを満たすサービスを効果的に企画するための情報を提供すること。</li> </ul>			
コミュニティ分析 コミュニティについて収集すべきデータと情報		ニーズ評価 図書館利用者／未利用者に関して収集すべきデータと情報	
<p>収集すべきデータの種類：</p> <p><input type="checkbox"/> 第1 – 個人，コミュニティグループ，またはグループのリーダーから</p> <p><input type="checkbox"/> 第2 – 政府機関，経済・産業調査，マーケティング研究，地元商工会議所，地元の団体によりすでに集められ，記録されているデータ</p>		<p>収集すべきデータの種類：</p> <p><input type="checkbox"/> 第1 – 個人，コミュニティグループ，またはグループのリーダーから</p> <p><input type="checkbox"/> 第2 – 類似した集団のニーズ評価，特定の利用者集団の情報探索過程の文化的・行動的側面の研究</p>	
	人口統計と社会経済的データ		情報探索過程の文化的・行動的側面
	図書館が受け持つ区域内のコミュニティ環境の特徴		情報ニーズ，例えば，種類，複雑さの度合い，形態，言語，目的
	コミュニティの情報環境		利用者の情報環境